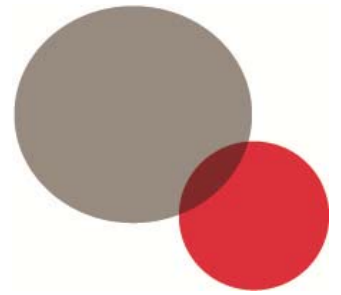


受験者への注意事項

一部カラー文字にて日本での受験について補足を入れております。



受験規約

必要事項

- 申込と受験には、パスポートが必須です。
 - オンラインにて受験登録が完了しましたら、「マイページ」からダウンロードできる「パスポートコピー送付用紙」に有効期限内のパスポートのコピー(旅券番号、本人署名、生年月日、顔写真の部分)を貼り付けて IELTS テストセンター(東京または大阪・受験都市により送付先が異なる)に郵送してください。住所は手引きを参照してください。
 - オンライン登録ではなく願書を郵送される方は、パスポートコピーを同封してください。
 - ※ 日本の IELTS センターでは、パスポート以外の身分証明書は受理できません。
- 個人情報に変更があった際には、いかなる場合でも、試験日前に IELTS テストセンターに届け出て下さい。届出のない場合、テスト受験・受験料の返金・日程変更には応じられません。(変更届のタイミング等の詳細は、“お申し込みの手引き”で確認してください。)
- テスト当日には、申込時に使用したものと同一有効なパスポートを持参してください。当日にパスポートを持参されなかった場合、テスト受験・受験料の返金・日程変更には応じられません。
- 受験の案内に記載されている集合時間に必ず間に合うよう会場にお越しください。万が一、遅刻をされた場合、以下の通りとさせていただきます。
 - ① 試験室に入室不可
 - ② どの科目も受験不可
 - ③ 受験料の返金・日程変更は不可
- 手荷物は手荷物室に置いて受験をして頂きます。鞆、修正液・修正テープ、マーカーペン、電子機器(携帯電話、ポケベル、録音機器、電子辞書など)等も、試験室に持ち込むことはできません。携帯電話等、音の鳴る機器は、電源を切った上で手荷物室に置いて下さい。電子機器の電源を切っていない場合、あるいは電子機器を試験室に持ち込んだ場合には、以下の通りとさせていただきます。
 - ① テスト受験中止
 - ② テスト結果受け取り不可
 - ③ 受験料の返金不可・日程変更不可
- 試験会場には貴重品は持ち込まないでください。IELTS テストセンターは、受験者の手荷物には一切の責任を負いかねます。
- テスト当日には本人確認のため、以下の手続きが取られます。
 - ① 顔写真の撮影: メガネ等、顔を隠すものを全て外して撮影をさせていただきます。写真撮影を拒否した場合、テスト受験・受験料の返金はできません。撮影した写真は、成績証明書に掲載されます。
 - ② 直筆のサイン(当日の受付の際に求められる場合があります。)
 - ③ 指紋登録
- 試験室の机の上に各自が置けるものは、以下の4点のみです。
 - ① パスポート
 - ② えんぴつ(キャップを外したもの)
 - ③ 消しゴム(カバーを外したもの)
 - ④ (必要であれば)ラベルを外したペットボトルの水
- 試験中、以下の点に気付いた場合は、直ちに試験監督・試験室の責任者に申し出てください。
 - ① 誤った内容の問題用紙が配られた場合
 - ② 問題用紙が不完全、あるいは破損していた場合
- 記入、解答方法に不明な点があった場合は、挙手で試験監督に知らせてください。監督者が補助に伺います。しかしながら、テスト問題内容に関する質問には、一切回答できません。
- テスト環境・テスト実施プロセス等が原因で、体調等の悪化をきたし、テスト結果に影響したと思われる場

合には、テスト当日中に試験監督・試験室の責任者に申し出てください。テストの運営に関して不服のある場合には、試験結果の発行前にテストセンターに申し立てを行ってください。試験結果発行後では、IELTS テストパートナーはテストに関する不服申し立ては受理できません。

- 試験終了時は、問題用紙、スピーキング問題冊子、解答用紙・冊子、その他メモ等に使用した紙類は、全て試験室に置いて退出してください。前記の試験資材を教室外に持ち出そうとした場合、受験資格を失い、IELTS テスト結果の受け取りもできません。

禁止事項

- テスト開始後は、他の受験者との会話、他の受験者の妨害はしないでください。
- テスト中に、他の受験者と物品等の貸し借りはできません。
- 試験室内は、飲食禁止・禁煙です。
- 試験監督・試験室の責任者の許可無く、試験室を退室しないでください。
- 全ての試験資材が回収され、退出の許可が出るまで、席を立たないでください。
- 下記に挙げるような、IELTS テストの規範・信頼性を損なう行為を行わないでください。
 - ① (どのような形でも)不正行為を行うこと
 - ② 他人の名を騙ったり、代理の受験者を立てたりすること
 - ③ 他の受験者の回答を模倣すること
 - ④ テストの進行を妨害すること
 - ⑤ テストの一部を、何らかの媒体に模写・再現すること
 - ⑥ テスト結果の改ざんを試みること
- 不正行為に関わった受験者は、IELTS 受験資格を剥奪され、テスト結果を受け取ることはできません。試験日後、テスト結果発行後に不正行為への加担が発覚した場合には、テスト結果は無効とします。また、当該受験者に対しては、法的責任を負うものとし、適切な法的措置を取ります。

テスト結果について

- テスト結果は、IELTS テストセンターより、通常試験日の 13 日後にリリースされます。
- 受験者に送付する成績証明書は、1 通のみです。万が一、成績証明書を紛失・破損した場合にも、再発行は致しません。
- 成績証明書は、受験者が提出したパスポート上の名義で発行されます。万が一、成績証明書の個人情報に誤りがあった場合には、試験を受けた IELTS テストセンターに変更依頼を提出してください。その際、正しい個人情報を証明できる書類の提出が必要になります。
当該 IELTS テストセンターで個人情報の変更が不可能な場合には、IDP IELTS オーストラリア (ielts@idp.com)もしくはブリティッシュ・カウンシル英国本部 (ielts@britishcouncil.org)にご相談ください。
- テスト結果の受領後に名前の変更があった場合でも、成績証明書上の氏名の変更はできません。何らかの不測の事情によって、IELTS テストパートナー側が受験者の成績証明書の再発行を認めた場合でも、新しい成績証明書は原本と同様の氏名で印字されます。
- 受験者のテスト結果に関して、IELTS テストパートナーが何らかの確認作業が必要と判断した場合には、試験日の 13 日後にテスト結果が発行されない場合があります。また、例外的事情によって、テストのいくつかの部分の再受験をお願いする場合があります。
- テスト結果は、IELTS テストパートナーにより、受験者が提出を希望する認定機関 (IELTS Recognised Organisation) に公開されます。各認定機関は本テスト結果をもって、スコアの確認、不正行為に関する確認を行います。
- 万が一、受験者や受験者の所属機関が、テスト結果に何らかの改ざんを加えて認定機関に提出をした場合には、IELTS テストパートナーにより、当該受験者のオリジナルのテスト結果が取り消されます。
- 認定機関が IELTS 利用型入試を行い、受験者が当該認定機関に出願した場合は、認定機関の要請により受験者の成績結果を提供します。尚、受験者が IELTS 受験に使用した個人情報と認定機関への

出願の際に証した個人情報の不一致等により発生した入試への影響、結果等については、協会は一切の責任を負いません。

- 受験者は、IELTS テスト結果が出るまでの過程の成果物を、閲覧することはできません。当該成果物は、IELTS テストパートナーによってテスト結果の精査等のために保管され、テストの価値向上、研究の目的で使用されることがあります。

キャンセル・振替受験について

- 試験日の5週間前以前に受験のキャンセル、振替受験を希望する場合、IELTS テストセンターはテスト受験料の25%を上限に変更手数料を徴収しています。
- 医療上等の正当な理由を除き、試験日5週間前以降に受験をキャンセルした場合は、受験料の返金はありません。医療上等の正当な理由で試験日5週間前以降に受験をキャンセルする場合には、試験日から5日以内に医療行為の証明となる書類の提出が必要になります。前記項目は、医療上の理由が深刻な場合のみ考慮の対象になります。提出書類は、医療行為の証明となる書類の原本である必要があり、試験日当日に受験ができなかった正当な理由の記載が必要です。

個人情報の取り扱いについて

- IELTS テストパートナーは、IELTS テスト受験者本人のプライバシーを認め、尊重します。
- IELTS の成績証明書は、受験者が試験前・試験後に送付を希望した認定機関(IELTS Recognised Organisation)にのみ、送付されます。
- 認定機関がIELTS 利用型入試を行い、受験者が当該認定機関に出願した場合は、認定機関の要請により受験者の成績結果を提供します。
- IELTS テストパートナー(あるいは権限委託を受けた代理機関)は、あらゆる不正行為を防止し、IELTS テスト(及びその利害関係者)を保護するため、認定機関・法的施行機関と以下の情報を共有することがあります。
 - ① 受験者のテスト中の行為
 - ② 受験者のテストスコア
 - ③ 試験日当日に撮影した受験者の顔写真
- IELTS テストパートナーは、受験者のテスト結果・テスト中の行為を、個人が特定できない形で、資料作成・研究・統計処理・教育目的で使用することがあります。